

事務事業評価シート

(H.30)No.	5002	(H.29)No.	5002
-----------	------	-----------	------

事務事業名	自動車管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	022201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	自動車管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	自動車管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につながる自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	2	成熟社会に対応する行政運営
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
庁用車両の集中管理による効率、効果的な運用と経費削減を目指します。
事業内容
庁用車両維持管理事業(平成30年4月1日現在)
公用車 車両台数 82台 (内訳:市名義 33台、リース車 49台) 原付 1台

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	車両台数 82台 ・新規リース4台予定 (軽乗用2台、小型貨物2台) ・再リース2台予定 ・再々リース6台予定 ・購入 軽乗用1台 (福祉基金軽乗用)	車両台数 82台 ・新規リース 5台予定 ・再リース 11台予定 ・新規購入 公共応急作業車 1台	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			車両台数 82台 ・新規リース 9台予定 ・再リース 2台予定 ・公共応急作業車 更新	車両台数 82台 ・新規リース 4台予定 ・再リース 20台予定 ・軽トラ(リフト車)1 台更新	車両台数 82台 ・新規リース 1台予定 ・再リース 7台予定 ・マイクロバス更新

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		29,048千円		30,954千円	29,154千円	29,154千円	29,154千円
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債			1,800			
	その他()		2,104	627	627	627	627
	一般財源	0	26,944	0	28,527	28,527	28,527
人工数	職員		0.38人	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人
	臨時職員等		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費	0千円	2,992千円	0千円	2,992千円	2,992千円	2,992千円	2,992千円
①+②総事業費	0千円	32,040千円	0千円	33,946千円	32,146千円	32,146千円	32,146千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
リース満了に伴う新規リースを行った。また老朽化による車両の更新を行い、車両の処分方法として官公庁オークションにより売却を行うことで、財源確保を図った。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
市名義車両について老朽化による維持管理費が増となっているため、計画的な入れ替えを行い、新たに車両を導入する際は、環境性能に優れた車両を導入することで、燃費向上と減税によるコスト削減を図る。また、更新に伴う費用は予算の平準化からリースとし、また入替車両を売却することで財源確保を図る。

6. 事務事業の取組に関する市の計画